

研究課題名	固形癌に伴うDICに対する多機関共同前向きコホート研究
研究の意義・目的	本研究は大阪公立大学が中心となって行う研究です。播種性血管内凝固症候群（DIC）という状態は、ケガや感染症によって引き起こされることが多いですが、ガンによっても引き起こされることがあります。ガンによって引き起こされたDICへの治療に関しては、この方法がよいといえる証拠が少ないです。そのため、ガンによってDICになった方々が、どのような治療を受けて、どのように検査結果や体調が変わっていったか、しっかり情報を集めることで、今後同じような状態の人を治療する際に、どのように治療を行ったらよいか、見つけていくための研究です。
研究を行う期間	それぞれの機関でこの研究の実施が許可された日から、2028年3月31日まで
研究協力をお願いしたい方（対象者）	下記の研究機関で、何かしらのガンと診断されてCTなどの画像の検査にてガンが体内に残っていることが分かる方であり、かつ播種性血管内凝固症候群（DIC）という、体の隅々で急に血液が固まり始め、細かい血管内に血の塊（血栓）がたくさん出てきている状態になっていると診断された方
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記の患者基本情報を本研究に使用させてください。 年齢、性別、performance status(PS；どれくらい体を動かせるかのスコア)、身長、体重、ガンの種類、転移している部位、感染症があるかどうか、併存疾患、DICの症状や治療内容、血液検査結果
試料・情報の他機関への提供	この研究で得られた情報は、大阪公立大学大学院医学研究科(大阪公立大学医学部附属病院) 乳腺外科学へ、特定の個人を識別できない形で集められ、保管します。
この研究を行っている共同研究機関	大阪府済生会中津病院 消化器内科 副部長 江口 考明 北野病院 呼吸器内科 丸毛 聡 大阪ろうさい病院 外科・消化器外科 浜川 卓也 大阪国際がんセンター 呼吸器内科 田宮 基裕
試料・情報を管理する責任者	大阪公立大学大学院医学研究科(大阪公立大学医学部附属病院) 乳腺外科学 柏木 伸一郎
本研究の利益相反	利益相反の状況については研究者等が利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	担当者：木下 春人, 高田 晃次 所属：大阪公立大学大学院医学研究科 乳腺外科学 住所：大阪市阿倍野区旭町 1-4-3 電話番号：06-6645-3838